

教育長室だより

第 14 号

2019.7.26

夏休みが始まりもうすぐ1週間。子どもたちはどのような毎日を過ごしているのでしょうか。よく“長い休みでなければできないことをしましょう”などと言いますが、具体的にはどんなことなのでしょう。

自由裁量時間という言葉があります。自分で自由に使える時間のことです。働く大人はふだん自由に過ごす時間が限られているので、いざ自由になると何をして良いかわからなくなる…そんな声が5月の十連休に聞かれました。

子どもたちにはそういうことにならないでほしいと思います。“時間があればやりたいことがいっぱいある”そういうパワフルな子どもになってほしいものです。夏休みの子どもたちの自己開放の後押しをお願いしたいと思います。



【夏休み各種教室のご案内】

今年も「夏休み各種教室」を開講します。学校からの案内文書が届いていると思いますが、それぞれの特徴を整理してご紹介します。

どれも工夫を凝らした、ふだんできない楽しい教室です。

《みんなといっしょに体を動かしたい人》

ネイチャーゲーム体験教室・紙飛行機を作って飛ばそう・ボランティアフェスティバル

《何かを作るのが好きな人》

おもしろ工作教室・エコバッグづくり教室・わくわく手芸教室

《詩やお話好きな人》

俳句教室・紙芝居教室

《伝統文化や歴史体験好きな人》

親子で琵琶体験教室・親子で箏体験教室・古代文化体験教室・茶道教室

《社会勉強に興味がある人》

平和学習・認知症キッズサポーター養成講座

各教室の問い合わせは町教委まで

子どもたちはこれからたくさんのご縁と出会い、そしてその中から興味・関心が生まれ、さらに深く関わってみたいことを見つけていきます。もしかすると将来の職業につながるご縁と出会うかもしれません。

たくさんのご縁・モノ・コトと出会うことは子どもにとって大切なことです。たくさんのご縁をさせてみてください。



【子どもたちの24時間】

夏休みなどの長期の休みになるとふだん気にならない子どもの一日の時間の使い方がよく見えてきて、心配になる保護者の方がおられます。学校からは休業期間中の計画表を作ることが指導されていると思いますし、一日の過ごし方の計画もある程度指導されていると思います。

しかし、休みも序盤を過ぎると、少しずつルーズになってくるお子さんも現

れます。どのような時間の使い方をアドバイスすると良いか考えてみました。

① 通常の日と特別な日を分けて計画を立てる。

○ 通常の日：特別なことをしない普通の日

学習（継続観察や自主的研究などを含む）・水泳（学校）・手伝い（家で決めたもの）・塾や習い事（社会体育を含む）・図書館利用などを適切に組み合わせスケジュールを作りそれに沿った過ごし方を守る。

○ 特別な日：長期の休みならでの過ごし方

家族で出かける日、親類などの来客のある日、家族や仲間との特別な行事のある日、イベントに参加する日などは通常の日スケジュールに依らず、別の計画を立てて過ごす。

② 夏休みのスケジュールに入れたいもの

○ 夏休みの課題の中で自分が力を入れたいものを決めて継続して取り組む
自由研究（生活科・理科・社会科関係など）や工夫創作・工作・読書感想文などの課題の中から、特に力を入れたいものに日数をかけて取り組む。

○ 図書館や学校のプールなど常に利用できる施設を積極的に活用する。

○ 地域や様々な機関が開催する子ども向けイベントに進んで参加する。

○ できれば家族と一緒に活動の機会を作る。

夏休みは1ヶ月以上ある長い時間です。その過ごし方は、年度の後半の子どもの成長にとってなかなか重要です。特に心と体の成長のため、価値ある時間となるよう保護者からも働きかけてください。

長い休みがゲーム依存のきっかけになったり、時間にルーズな生活習慣になることが心配！です。

【読解力ということ】

子どもの学力の核として最も重要なキーワードは“読解力”です。

読解力は読んで字のごとく文を読んで理解する力ということですが、もっと広い意味もあり、例えば表やグラフから意味を理解する力なども含まれます。広く言えば“意味を理解する力”だととらえた方が良いでしょう。人の能力を超えようとしているAIが実は最も不得意とするのがこの“意味を理解する力”だと言われています。

ではどんな活動がこれを育てるのか。そもそも読解力は言葉の力ですから、「読む」、「聞く」、「話す」が大事です。もう少し具体的に言うと「説明する力」や「説明を理解する力」がこれにあたります。

「たくさん読んでいろいろ聞いて、どんどんしゃべる」ということになりま

す。人と会うことや読むものに触れることなどが大事になります。

さて、子どもたちはどんな機会にこれらのことをしているでしょう。

一緒に考えてみてください。